

平成31(2019)年度実施

相模原市立学校教員募集

Schoolteacher Recruitment in Sagamihara City Public Schools

た か ら

人が財産の さがみはら

受験申込期限

平成31(2019)年

5/27 月

第1次試験

平成31(2019)年

7/14 日



相模原市
マスコットキャラクター
さがみん

相模原市教育委員会

魅力あるまち、相模原

Attractive town, Sagami-hara

解説員による全編生解説の季節の星空を解説する番組や様々な天文関係の話題を盛り込んだテーマ解説番組、後半にアニメ番組などを上映することもプラネタリウム、ドームいっぱいの映像を楽しめる全天周映画などを上映し、何度も足を運びたいくなるおすすめの場所です！

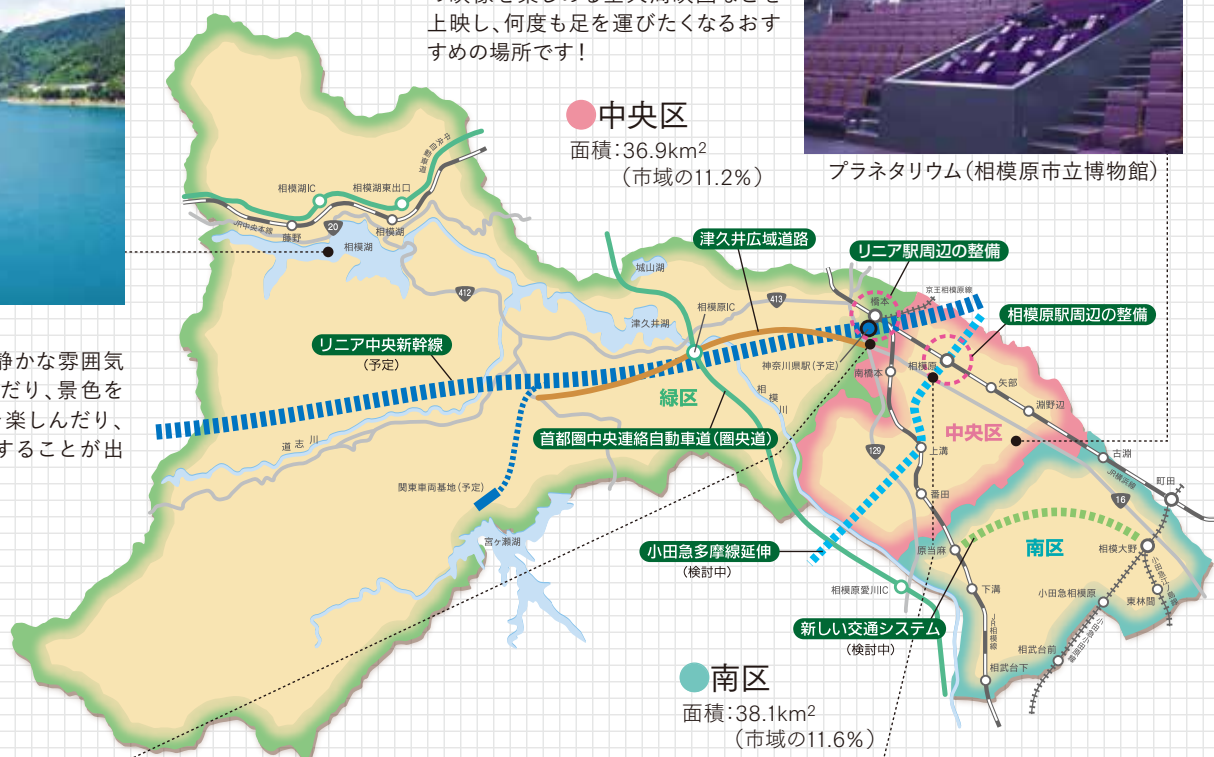


相模湖

相模湖付近では自然の静かな雰囲気の中でゆっくりとくつろいだり、景色を楽しみながらランニングを楽しんだり、自分に合った過ごし方をすることが出来ます。



プラネタリウム(相模原市立博物館)



リニア駅周辺のまちづくり

橋本駅を中心に、その周辺地区が対象となります。特に南口地区は、優先的に土地利用を図る地区として、平成39年のリニア中央新幹線の開業を見据えたまちづくりを目指しています。



橋本駅周辺の将来イメージ

相模原駅周辺のまちづくり

相模原駅を中心に、その周辺地区が対象となります。特に、相模総合補給廠の一部返還地(約17ヘクタール)は、新市街地の形成により、相模原駅周辺地区全体の発展の契機として、その役割が期待されています。



相模原駅周辺の将来イメージ

人口・世帯数データ

	相模原市	緑区	中央区	南区
人口(人)	722,863	171,602	271,965	279,296
世帯数(世帯)	323,587	73,494	121,420	128,673

平成31年1月1日 現在

相模原市立学校データ

	小学校	中学校	合計
学校数(校)	72	37	109
学級数(数)	1,339	568	1,907
児童生徒数(人)	35,606	16,696	52,302
教職員数(人)	1,940	1,131	3,071

平成30年5月1日 現在



WELCOME TO SAGAMIHARA

Schoolteacher Recruitment in Sagamihara City Public Schools

Pick Up

01 未来を拓く さがみはら新都心

本市では、橋本・相模原両駅周辺を一体的な「広域交流拠点」と位置付け、50年、100年先を見据えたまちづくりを進めています。

また、国が平成28年3月に決定した「首都圏広域地方計画」に位置付けられた、リニア中央新幹線によるスーパー・メガリージョンの形成プロジェクトの一翼を担うため、国土づくりの方向性に沿った展開が期待されています。



ホームタウンチーム

本市では、市内に活動拠点を置き、全国での活躍が期待できるスポーツチームを「相模原市ホームタウンチーム」として認定し、支援することにより、シティセールスやスポーツ振興に生かしています。

JAXA 相模原キャンパス

小惑星探査機「はやぶさ2」などの運用を行っている日本の宇宙科学の中心となる研究所。平成30年2月には宇宙科学探査交流棟がオープンし、展示室内では「はやぶさ2」の実物大模型や「はやぶさ」帰還カプセルの実物、屋外にはロケットの実物大模型などが展示されています。



基本理念

た か ら 人が財産

求める教師像



人間性

人間性 豊かな教師

子どもと共に感動を
分かち合い、情熱を持って
夢を語る教師

信頼性

信頼 される教師

子どもの願いや悩みに
真剣に向き合い、
家庭・地域・仲間と共に、
その実現・解決に努める教師



向上心

指導力向上に 努める教師

子ども一人ひとりが
「もっと学びたい」「もっと知りたい」と
感じる授業を目指し、
その実現のため自己研鑽に
努める教師



▽ 初任者教諭に聞いてみた! ▽



人間性豊かな教師とは…

子ども一人ひとりと向き合い、寄り添える教師

子どものことを心から考えられる思いやりがあり、一緒に感動を分かち合える教師

人間性豊かな教師とは…

子どもと共に感動できる教師

いろいろな人の立場で考えられる教師



信頼される教師とは…

子どものために全力を尽くせる教師

正直に、そして心から生徒と向き合い、個性を理解し、一緒に問題解決していく教師

信頼される教師とは…

子どもを信じ、本気で向き合える教師

根拠をもって対応できる教師



指導力向上に努める教師とは…

想像がどんどん膨らみ、発想力豊かな教師

目の前のどの子どもにとっても「分かる」授業を探求し、心を育てられる教師

指導力向上に努める教師とは…

「できた」の笑顔のために努力できる教師

何事にも挑戦し、失敗から学ぶ教師



さがみはら教育の特色

Characteristic of the Sagamihara education

未来を切り拓く力を育てるキャリア教育

～小中一貫でキャリア教育を推進します～

「小中一貫でキャリア教育を推進します！」をスローガンに掲げ学校、地域、家庭、行政が連携したキャリア教育を2020年度から全校で推進していきます。

特色 1

＊9年間の学びの連続性を大切にするための支援

教職員の共通理解を図るため、「推進の手引き」の作成・配付、指導主事等による研修、キャリア教育担当者会の開催、中学校区での小中一貫の取組への支援等、学校をバックアップする体制を整えていきます。

特色 2

＊地域・家庭と協働した教育活動への支援

コミュニティスクール実践校への支援を中心に学校と地域が協働した魅力ある教育活動を推進していきます。



「夢や希望を持って未来を切り拓く力を備え、社会的・職業的自立を果たし、社会で自己実現する、さがみはらの子どもたちの未来の姿」をめざし「キャリア教育」を展開します。

小・中一貫した外国語教育

～英語を用いてコミュニケーションを図ることができる子どもの育成～

言語・文化や価値の多様性を受け止め、英語を用いてコミュニケーションを図ることができる子どもの育成をめざして、小学校3年生から中学校3年生までの7年間を通した英語教育を進めています。

特色 1

ALTの先生による授業が充実しています！ ※ALT(外国人英語指導助手)

中学校では週1回、小学校では全授業の半分以上の授業でALTとのチーム・ティーチングを行っています。



〈小学校外国語活動の様子〉

外国語活動・外国語の年間授業時数とALT配置時数

学年	小3年	小4年	小5年	小6年	中1年	中2年	中3年
標準授業時数	35	35	70	70	140	140	140
ALT配置時数	20	20	35	35	35	35	35

※小学校1、2年生にも3時間程度、ALTを配置しています。

特色 2

2020年度から始まる新学習指導要領の全面実施に向けて、英語教育アドバイザーが小学校の先生方をサポートしています！



〈英語教育アドバイザーによる教員研修の様子〉

プログラミング教育

～次世代の資質・能力を育成するプログラミング教育に力を入れています！～

相模原市では、2030年代以降に社会で活躍する子どもを育成するため、必修化に先駆けてプログラミング教育に全校で取り組んでいます。プログラミングの授業では、子どもたちが楽しく、真剣に思考錯誤する様子がどの学級でも見られます。

もちろん全ての先生たちが安心して授業に取り組めるよう、教材や研修、ICT支援員のサポートも充実しており、皆さんが思い描く次世代の教育に取り組むことができます。



豊かな心を育てる体験活動

～体験活動で子どもが変わる～

市内にある教育施設「相模川ビレッジ若あゆ」や「ふじの体験の森やませみ」を利用し、相模原の四季がおりなす豊かな自然の中で、子どもたちと教員が寝食を共にし、ふれあいを深めながら様々な体験活動に挑戦しています。体験活動を通して、児童・生徒の創造性及び主体性を培い、豊かな心を育む教育を推進しています。

主 な 取 組 体験プログラムの充実

子どもたちそれぞれが「主役」となり、体験活動を通して、新たな発見をし、自ら進んで学ぶことの楽しさを感じながら、自主性や創造性を育めるように、充実した体験活動プログラムを用意しています。



先輩教員の声 初任者編

Voice from Experienced Teachers



教諭 小澤 竜太
清新小学校(相模原市出身)

Q

教員を志した理由は何ですか？

高校生の時、先生の熱心な姿を見て、教員という仕事に興味をもったことがきっかけです。元々中学校の先生を志望していたのですが、大学のインターンシップで小学校に行く機会があり、そこですごくやりがいを感じ、小学校の教員を目指そうと考えました。

Q

児童・生徒と接する時に工夫していること、大事にしていることはありますか？

休み時間にはできるだけ子どもと接することを心がけています。

また、最低一日一回はクラスの子全員と話すようにしています。関わっていくことでお互いの気心が知れて、心の支えとなります。日々、子どもたちに助けられています。

Q

先輩教員からのアドバイスや助けてもらったことなどエピソードがありましたら教えてください。

理科で、教科書を読むだけではわからない実験方法を教えていただきました。現場にはたくさんの先輩方がいます。その先生方の実践されたことを取り入れて授業をしてみると、子どもたちの目の輝きが変わることがありました。

自分だけでは気づかないことだらけなので、まずは聞いてみるのが大切だと思います。

Q

休日の過ごし方を教えてください。

外に出かけることが多いです。家にいるのがもったいないと感じるので、様々な所に出かけます。プロ野球のシーズン中にはよく野球観戦に行きます。

最近は、授業に必要な物を探しに行ったりすることが増えました。意外な物が教材として適していることに気づき、視野が広がっていきます。来年度は、趣味を増やしていきたいです。

Q

教員という仕事の魅力や、やりがいを教えてください。

保健室でじっくり話を聞いて、一人ひとりと時間をかけて関わることができるのは養護教諭ならではの利点だと思います。また、心が乱れた状態で保健室に来た児童が、話をしたり一緒に作業したりするうちにリフレッシュし、教室に戻ることができたときは、「力になれてよかったな」とやりがいを感じます。

Q

採用前に不安に思っていたことはありますか？また、どうやってその不安は解消されましたか？

初めての土地で、学校や地域の様子もわからないことが不安でしたが、同僚や中学校区の養護教諭、また、研究や研修の場で他の地域の養護教諭が相模原市の特色や他の学校の様子を教えてくださいましたので、今はその不安はありません。わからないことがあっても尋ねやすいということも安心できます。

Q

相模原市を受験した理由、また相模原市を選んで良かった(相模原のここがイイ!)と思う点はどこですか？

小中学校の連携がしっかりできているところだと思います。近隣の小中学校の養護教諭と様々な情報交換ができるのが、大変ありがたいです。相模原市に初めて来た私にとっては、地域のことを知る良い機会です。また、経年的に子どもを知ることができる点も良いところです。

Q

先輩教員からのアドバイスや助けてもらったことなどエピソードがありましたら教えてください。

校内研修の指導員に、「気がついたことがあったら、些細なことでも担任の先生に伝えておく」と良いよ。報告というよりも、日常会話のようにさりげなく。」と教えていただきました。

日頃からコミュニケーションをとることで、担任の先生からも児童の様子を聞くことができ、保健室での対応にも役立てることができました。



養護教諭 堺 理紗子
藤野南小学校(大阪府出身)

Q

児童・生徒と接する時に工夫していること、大事にしていることはありますか？

生徒の立場になって考え、接することです。1年目で経験や知識が浅いのは仕方がないことですが、だからこそまず生徒の思いや背景を知ることが大事だと考えています。毎日帰りの会で「ひとこと日記」を行い、直接は言えなくとも今思っていることや感じていることを自由に書いてもらっています。最初は何も書かなかった生徒も根気強くコメントを書き続けているとだんだんと打ち明けてくれる生徒もいて、生徒理解に役立っています。

Q

相模原市を受験した理由、また相模原市を選んで良かった（相模原のここがイイ!）と思う点はどこですか？

様々な自治体の志願者説明会に行く中で唯一「働くのが楽しそう!」と思えたのが相模原でした。温かい雰囲気であいられ、パネルディスカッションではパネリストの教員が皆生き生きとしており、私もこんな風に働きたいと思いました。女性教員が「育児中でも働きやすい」と笑顔で話していたのを今でも覚えています。実際、今の職場では、男女関係なく働きながら子育てをしている職員が多いので、困った時はお互いに支え合う環境が整っており、自分も安心して働くことができています。



教諭 長永 塁
上溝中学校(兵庫県出身)

Q

教員という仕事の魅力や、やりがいを教えてください。

同じ日は1日とありません。日々新しい気づきや驚き、反省することがあり生徒のわずかな成長も自分の喜びや感動につながるところが魅力だと感じています。そしてそれらは自分の成長にも繋がり、子ども達と一緒にこれからどう変わっていけるのか楽しみです。

Q

採用前に不安に思っていたことはありますか？また、どうやってその不安は解消されましたか？

採用されて大学卒業後、すぐに教卓に立つことは楽しみでもあり正直大きな不安でもありました。でも実際に現場に入ると、常に一緒にクラスのことを考えてくださる学年主任や、初任者の私のことをいつも気遣って足並みを揃えようとしてくださる学年の先生方がサポートしてくれています。ひとりでスタートするのではなく、チームとして動く体制が整っており、安心して教員生活を送ることができています。



教諭 鈴谷 莉央
相武台中学校(横浜市出身)

Q

教員を志した理由は何ですか？

教員である両親がかっこよく見えたこと、また、恩師との出会いによって教員になりたいと考えるようになりました。

教育実習の最終日に、生徒から「絶対先生になって帰ってきて!」と言われたことが嬉しく、本気で教員になる決意を固めました。

Q

児童・生徒と接する時に工夫していること、大事にしていることはありますか？

生徒の発言や行動の背景を考えることを大切にしています。サポートルーム(通級指導教室)担当になり、最初に主任に教えていただいたことです。生徒の思いに寄り添い、理解することは難しいですが、いつも意識して取り組んでいます。

あとは、自然体でいます。楽しい時には思いつきり笑います。笑顔を大事にしています。

Q

教員という仕事の魅力や、やりがいを教えてください。

毎日生徒に会えることです。生徒の一生懸命な姿や成長を身近で感じることができると、とても嬉しいです。まだまだ魅力ややりがいがたくさんあると思います。学び続ける姿勢を忘れず、今以上に教員になって良かったと思えるようにしたいです。

Q

受験生へのメッセージをお願いします。

「絶対教員になる!」という強い気持ちで臨みました。子どもの姿をイメージして、熱い思いをぶつけてください。子どもたちのために、チーム相模原として共に切磋琢磨し、成長していきましょう。

先輩教員の声 チームさがみはら編

Voice from Experienced Teachers

子どもたちが安心して学べるよう、相模原市の学校では、先生方の支援をしてくれる方や児童生徒を支援してくれる方がいます。校内で全体がチームとして連携・協働し、魅力ある学校づくりに励んでいます。

宮上小学校 校長 林 由美子

Q. 校長としての仕事の内容を教えてください。

教職員が一丸となって進むべき方向性・達成すべき目標を明確に示すことが、校長としての仕事です。そして、教職員一人ひとりが持ち味を発揮し、成長できる組織をつくることも校長の重要な役割です。

Q. 校長として心がけていること、大事にしていることはありますか？

何が起ころうとも笑顔を忘れず、あわてない、ゆらがない、迷わない。子どもの成長を最優先に、がモットーです。しかし、失敗もあります。その時は潔く謝り、失敗の背景をきちんと分析するように心がけています。



Q. 職場の先生方とコミュニケーションを取る際に意識していることはありますか？

私から誰にでも気軽に話しかけるようにしています。会話のきっかけは授業のことや子どものことが多いのですが、世間話もたくさんします。聞き上手であること、先生方がリラックスできる雰囲気づくりも意識しています。

Q. 受験生へのメッセージをお願いします。

子どもと共に教師も育つ、相模原は可能性を秘めた若い町です。常に学び続ける姿勢を忘れず、これからの相模原の教育を一緒につくりていきましょう。

児童支援専任教諭

大野北小学校 総括教諭 矢部 祥子



Q. 児童支援専任教諭として、どのような仕事をされていますか？

学級への支援、個別の支援、授業への支援、緊急対応、外部機関との連携、教育相談など学校がチームとして細やかな対応ができるように「つながって一緒に取り組む」仕事をしています。

Q. 児童支援専任教諭として他の先生とどのように連携していますか。意識していることや大事にしていることを教えてください。

「誰も一人にしない」ことを意識しています。職場は忙しいですが、何気ない会話や子どもたちの話を一緒にできる雰囲気は大切だと思います。楽しいエピソードも真剣な悩みも共有できるように時には私の失敗した経験話すこともあります。先生の思いを尊重して連携しています。

指導教諭

中野小学校 指導教諭 川邊 亮子



Q. 指導教諭として、どのような仕事をされていますか？

指導教諭の仕事は主に3つです。1つ目は所属校で授業を行うこと、2つ目は他校の先生方の授業を参観し助言をすること、そして3つ目は、他校で私自身が授業を行い、その学校の先生方に参観していただくことです。

Q. 指導教諭として、他の先生との関わりで意識していること、大事にしていることはありますか？

ともに学ぶ、という姿勢を大切にしています。先生方の様々な考えを聞くことにより、自分自身の考えを広げたり深めたりできるからです。また、相談を受けた際には、具体的に案を出すことを心がけています。

支援級担任

新磯小学校 教諭 佐藤 明子



Q. 支援級担任として工夫していることや意識していることはありますか？

児童が将来、自立して生活ができるよう、支援する場面と見守る場面を見極めて接するようにしています。児童が「楽しい」「できた」「わかった」という気持ちを1つでも多く持てるようにし、前向きになれる言葉かけを意識しています。

Q. 受験生へのメッセージをお願いします。

どんな仕事でもそれぞれ大変なことがあります。未来ある子どもたちと日々一緒に過ごせる教員の仕事は、本当に幸せな仕事だと思えます。心と体の健康を第一に、教員として、1人の人間として、相模原と一緒に成長していきましょう。

支援教育コーディネーター

旭中学校 教諭 岡内 綾



Q. 支援教育コーディネーターとして、どのような仕事をされていますか？

悩みを抱える生徒や保護者との面談や家庭訪問への帯同などを行っています。他にも関係諸機関(子育て支援センターや児童相談所)などとの情報連携や連絡調整をしています。

Q. 支援教育コーディネーターとして他の先生とどのように連携していますか。意識していることや大事にしていることを教えてください。

担任が一人で抱え込まないように声掛けを心がけています。その中で、それぞれのクラスの生徒・保護者の現状を把握することで、面談や他の対応の時に一緒に動けるように意識しています。

学校事務

市立小中学校で、教職員の給与支払事務や教材の購入、施設の管理など、学校運営に関する幅広い事務を行い、相模原市の教育環境を整備する大切な役割を担っています。

日本語巡回指導講師

日本語指導を要する児童生徒に対し、日本語の個別指導を行うなどして、子どもたちが学校生活を送るうえで必要な日本語が習得できるよう支援をしています。

支援教育指導員

小・中学校を巡回し、専門的な立場から指導助言を行うことで、各校の支援教育の校内体制やきめ細かな支援の充実を図っています。

日本語指導協力者

母語が話せる協力者を学校に派遣して、子どもたちが安心して学校生活を送れるように支援しています。

学習支援員

市内小学校に24人配置。児童の基礎的・基本的な学力の習得、習熟を図るため、算数、国語の授業において、チームティーチング、個別支援、教材作成を行うなど、児童の学習支援等を行います。

学習支援スタッフ

市内中学校30校で実施。生徒の学習意欲の向上や学習内容の定着を図るため、数学・英語を中心に放課後の補習を実施し、退職教員や教員をめざす大学生等、登録している学習支援スタッフが生徒の自主的な学習を支援します。

青少年教育カウンセラー

全小中学校に配置。児童生徒、保護者の相談役として、学校における悩み、心配事に対応しています。

支援教育支援員

全小中学校に配置。通常の学級や特別支援学級において、教育的支援が必要な児童生徒に対し、きめ細かな支援を行っています。

スクールソーシャルワーカー

各校からの要請に応じて、7人のワーカーが福祉的側面からの支援を行っています。

学校支援ボランティア

多様な知識や経験を持つ地域の方々とのふれあいを通して、子どもたちの学習に対する興味や関心、意欲を高めています。また、多くの大人が子どもたちを見守ることで、よりきめ細かな教育活動を行っています。

健康安心サポート

健康の保持増進に専門的立場から助言をします。

学校現場に理解の深い医師、保健師、臨床心理士といった医療スタッフが、皆さんの体と心の様々な相談に応じ、健康に働けるように応援しています。学校に出向いての相談も行っています。

学び続ける教師を支援

Support for Teachers Continuing to Learn

ライフステージ研修

初任の教員を対象とした初任者研修では、気付きや謙虚に学ぶ姿勢から始まり、実践的な授業力や指導力、教員としての基礎的知識等を学びます。その後も、ライフステージに応じた研修でキャリアアップをサポートしています。

基礎期	非常勤講師研修講座
	常勤代替教諭研修講座
形成期	初任者・新採用研修講座
	2年次研修講座
	3年次研修講座
	6年次研修講座
向上期	中堅教諭等 資質向上研修講座
	15年次研修講座
発展期	学校運営推進者 研修講座
	新任副校長研修講座
円熟期	副校長研修講座
	新任校長研修講座
	校長研修講座



串川中学校 教諭 眞崎 涼平



初任者研修では、教員として身につけるべき知識を学びました。担当教科では授業の組み立て方や指導法を担当の方から日々指導していただきました。教科外では生徒理解の深め方や学級運営の仕方など、同僚教員の実体験や事例をもとに考えることができました。何もかもが初めての経験でしたが、担当の方や校内の先生方から貴重な示唆をいただきました。また同期との初任研からは、常に刺激を受けることができました。



上鶴間小学校 教諭 井上 礼仁



3年次研修では、他の先生方の授業を参観し、適切な発問のあり方や目指す子どもの姿に即した手立てを多く学ぶことができました。研修後は「子どもにどのような力をつけたいのか」ということをより強く意識して、先生方と教材研究に取り組むようになりました。自分が学んだ分だけ子どもの「わかった!できた!」という笑顔につながり、大きな喜びを感じています。今後も、子どもたちと全力で向き合いながら精進していきたいと思っています。



大野小学校 教諭 熊川 浩之



本研修では、人材育成という視点でOJTと振り返りを繰り返してきました。私は学級担任、校内研究主任として努めていますが、その活動をサポートしてくれる多くの方々の支えがあって、自分がいるということ、この研修を通して改めて強く感じることができました。今後も、子どもたちの成長のために、感謝の気持ちを忘れずに、職場の仲間とともに自分も多くの方々のサポートができるよう日々研鑽に励んでいきたいと思っています。



校内研修(210時間)

勤務学校内で行う研修です。授業に関する研修(授業実践、授業参観等)、学校教育全般に関する研修等を行います。初任者研修の担当指導教員を中心に学校の教職員全員で学びをサポートします。



校外研修(年間15回)

勤務校外で行う研修です。主に教育センターで行います。少人数のグループに担当指導主事がつき、きめ細かな指導のもと、児童生徒理解、授業づくり・学級づくりの基礎を中心に学びます。

相模原市教育研究発表会

「ともに見つめ、ともに創る子どもの未来」をテーマに、学校教育や社会教育など子どもに関わる様々な立場の人による実践発表を通して意見交換を行い、学びを深めます。



体験活動研修(日帰り)

市内にある教育施設「相模川自然の村野外体験教室(若あゆ)」で行います。自分と向き合うことや、他者を理解し、共感することの大切さを学びます。

働きやすい、暮らしやすい相模原

Sagamihara where it is easy to live in that is easy to act

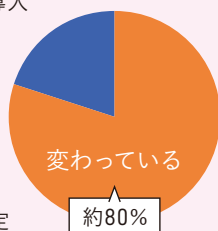
学校現場における働き方改革を進めています

【これまでの主な取り組み】

- 1 スクールサポートスタッフの配置(60校に配置予定)
- 2 部活動指針の推進
- 3 学校閉庁日の設定(夏休み3日間)
- 4 タブレットPCを使った新しい連絡モデル実施
- 5 統合型校務支援システムの小学校への導入(中学校へは導入済み)

【取組の成果】

長時間勤務への意識の変化
変わっているという意見が8割



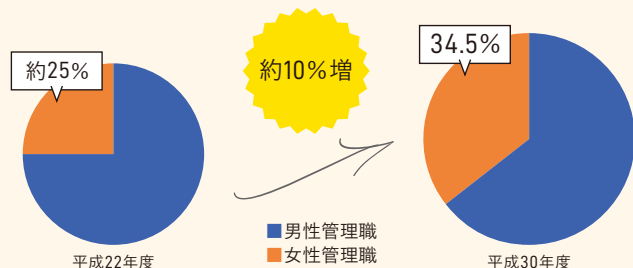
【今後の取り組み】

- * 市内統一した教員の勤務時間上限の設定
- * 学校現場全教職員の役割分担の明確化
- * 部活動指導員の配置等

子どもと向き合う時間、教材研究等、教師としての仕事の時間を確保します！

女性管理職の登用

女性管理職の登用については、全国の公立小中学校で女性管理職が占める割合の平均が20%に満たないのに対し、相模原市では、34.5%(平成30年度現在)と全国平均を大きく上回るなど、女性が活躍し続けることができる環境が整っています。



こんなデータもあります！

公立小・中学校の屋外運動場の面積(児童・生徒1人当たり)が首都圏の中では2番目に大きく、児童生徒が伸び伸びと体を動かすことができる環境があります。

(大都市比較統計年表より引用)



「持続可能な都市」を目指して首都圏のSDGs先進度ランキング1位

国連が定めた国際社会共通の目標であるSDGs(持続可能な開発目標)の取り組み状況について調査を行ったところ、首都圏では1位という結果でした。「社会」「環境」「経済」等総合すると全国6位。すべての子どもに学習の機会を設けるため、返還不要の給付型奨学金制度を創立、ひとり親家庭等学習支援事業、等の取り組みを行っています。



子育て家庭に寄り添う支援の取り組み

相模原市では、子育て世代に対して子育て環境の充実に取り組んでいます。

【主な取り組み】

- * 保育所などの待機児童対策(潜在保育士の再就職支援や、保育士の宿舍借り上げ費用の助成、新規開設園への巡回支援実施等)
- * 「ブックスタート事業」「セカンドブック事業」の開始
- * 「小児医療費助成」の助成対象を中学校3年生まで拡大(県内政令指定都市で初)。
- * 市内各区に「子育て支援センター」を設置し、「子育て広場」の提供、「ふれあい親子サロン」の開催等気軽に訪れて相談しやすい環境を整えています。



育児休業取得者の声

緑が丘中学校 総括教諭 田中 紀子

Q 仕事と子育ての両立はどのように工夫されていますか？

A 家に仕事を持ち帰らなくて済むように、仕事の先を見通して、余裕を持ってこなしていくことで、家にいる時間は3人の子どもたちに全力を注げるようにしています。食べ盛りの子どもたちが満足するように、平日は時短のメニューを考えて食事を作ることと、休みの日にはなるべく手のかかる子どもたちの好きなメニューを作るようにしています。どんなに忙しくても、食事を作ることは頑張っています。また学校でも家庭でも、毎日全員の子どもたちと会話することを心がけています。

Q 産休を取得する前、また育休からの復職後、周りの職員のサポートはありましたか？

A 産前は、健診で休むときの授業をお願いしたり、集会時に座れるように、さりげなくイスを用意していただいたりしました。復職後も育児短時間勤務をさせていただき、特に同じ学年の先生方には、いつもあたたく支えていただきました。復職したとき3歳だった息子が、10歳になりました。無事に成長しているのも緑中の先生方に助けていただいたおかげです。今度は私が若い先生方を支えられるようになりたいです。

Q 受験生へのメッセージをお願いします。

A 教師という仕事は、成果がすぐに現れないことも多いので、長く続けてこそその魅力がわかる仕事だと思います。育休からの復帰もしやすい環境にあると思うので、女性には特に働きやすい職場であると言えると思います。試験を突破し、相模原の先生方と一緒に働ける日を楽しみにしています。頑張ってください！

Q 相模原市外に住んでいますが、選考試験において不利になることはありませんか？

A 居住地や出身地、性別、学歴によって、有利・不利になることはありませんので、ご安心ください。

Q 2次試験に合格したら、必ず採用されますか？

A 採用候補者名簿に登載された方は、原則として全員が採用されています。ただし、必要とされる免許状が取得できない場合など受験資格の要件が満たされない場合や教員としての適格性を欠く事実が明らかになった場合などは採用されません。

Q 1次試験の過去の問題を閲覧できますか？

A 過去5年分の筆記試験（一般教養・教職専門試験、教科専門試験）問題及び解答、課題作文題を公開しています。また、実費でコピーすることも可能です。

場 所：相模原市役所本庁舎 本館1階 行政資料コーナー

受付時間：午前8時30分～正午、午後1時～午後5時（土曜、日曜、祝祭日を除く）

Q 昨年の採用試験との変更点はありますか？

A 「障害者選考の新設」「加点の引き上げ及び加対象の追加」「特定の免許・資格所有者に対する加点の新設」「特別選考区分の新設、廃止及び資格要件等の変更」が主な変更点です。詳しくは、実施要項1、2ページをご確認ください。

Q 昨年度の採用試験の結果、待遇・福利厚生について教えてください。

A 次の表をご覧ください。

平成30年度実施採用試験結果

受験区分・教科等	募集数	受験者数	合格者数	合格率
小学校	全 科	40人程度	236	5.4
	英語コース	10人程度	13	2.2
	国 語	6人程度	27	4.5
中学校	社 会	5人程度	48	9.6
	数 学	8人程度	36	5.1
	理 科	6人程度	19	4.8
	音 楽	1人程度	11	11.0
	美 術	1人程度	9	9.0
	保健体育	3人程度	56	18.7
	技 術	3人程度	8	2.7
	家 庭	1人程度	3	-
	英 語	4人程度	24	4.0
	特別支援	5人程度	20	4.0
	計	43人程度	261	6.4
	養 護 教 諭	4人程度	43	8.6
合 計		97人程度	553	9.6

待遇・福利厚生について

■給与

新規卒業（修了）者の初任給は、概算で次のとおりです。
なお、採用前に職歴などがある人は、その内容に応じて加算されます。

区 分	修士課程修了	大 学 卒	短 大 卒
初 任 給	270,321円	244,761円	218,253円

※上記の額は、給料・教職調整額・地域手当・義務教育等教員特別手当を含みます。
その他、各個人の状況に応じて、通勤手当・扶養手当・住居手当なども支給されます。
平成30年4月1日 現在

■賞与

* 期末手当及び勤勉手当が年2回（6月、12月）支給されます。
* 住居手当：自ら居住するため住宅を借り受け、月額12,000円を超える家賃を払っている職員で、借受名義人である者に支給されます。支給額は家賃によって異なり、上限は27,000円です。
このほかにも、状況に応じて諸手当が支給されます。

■勤務時間

勤務時間は1日7時間45分、1週間につき38時間45分です。
休暇等は年次休暇（20日）、夏季休暇・出産休暇・育児休業等の制度があります。

■福利厚生

各互助組織等において、各種福利厚生事業を行っています。
* 公立学校共済組合：健康保険等の社会保険、資金貸付、施設の割引利用等
* 相模原市立学校教職員互助会：人間ドック助成、バスツアー、ポウリング大会等
* （一財）神奈川県教育福祉振興会：住宅建設資金貸付、慶弔金給付等
* 相模原市職員生活協同組合：優待販売、団体保険等



※インタビュー等を掲載している教員の所属校は、平成30年度現在で記載しています。

